



# 錦中だより



令和5年10月4日  
墨田区立錦系中学校  
校長 和田 浩二

校訓 ○知性をみがき

○品性を高め

○体力をつける

＜目指す生徒像＞

未来への夢や希望をもち

こころざし高く歩み続ける生徒

今月の学校公開日 21日(土) 錦中ハローワーク(1,2年)・進路説明会(3年)

## しなやかな心を育てる

副校長 本多 泰介

新型コロナウイルスの流行や、地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、台風や地震といった災害など、予測が困難な事象が次々と起こっています。こういった「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」をVUCA (Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性、の頭文字)と表すことがあります。

このような時代にあっては、レジリエンスが大事といったことも合わせて耳にしたことがあると思います。レジリエンス(Resilience)とは、困難や脅威に直面している状況に対して、「うまく適応しながら成長する能力」を意味する言葉です。(私個人は、心のしなやかさと捉えています)逆境や困難等にうまく適応し取り組むには、まず、粘り強くやり抜くことが必要と思いますが、錦系中の生徒はどうでしょうか。

4月に実施したアイチェックに、これに近い項目がありました。「あなたはものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか」に対する肯定率(そうだと回答した生徒の割合)は、1年:65.5%、2年:68.9%、3年:69.2%で、どの学年も高い数値とは言えません。ざっくり捉えれば、3~4割の生徒は物事を途中で投げ出しがちだということになります。「あきらめたらそこで試合終了ですよ」とのあるマンガの名言は、今の中学生には、あまり響かないのかもしれませんが。

期末考査も返却され、前期も間もなく終了。各部活動の

秋季大会もほぼ終了しました。結果に一喜一憂することは悪いことではありませんが、より大事なものは、「どのように取り組んだか」です。

スポーツ選手のインタビューを見ると「結果がすべてです」と言う選手が多いですが、本当にそうでしょうか。プロや代表の選手は、何かしらの成果をあげることが求められるので、そのように言わざるを得ないのだと思います。しかし、活躍の裏では、そういった選手こそ、高く設定した目標に向かって努力し、その過程で壁にぶつかったり挫折をしたり、そしてその壁を乗り越えるという経験をしています。道徳の時間でもこういった内容の学習をしたことがあるはずで

す。前出のアイチェックでは、次のような結果もありました。「自分なりに努力したことがうまくいって、うれしかったことがありますか」に対する肯定率は、1年:77.6%、2年:85.2%、3年:92.3%でした。学校の内外で学んだことや努力したことは、確実に生徒の心を成長させます。

さて、生徒のみなさんは、前期をどのように過ごしてきたでしょうか。日々の取組に正対し、一生懸命努力し、レジリエンスを高めてほしいと思います。



### 墨田区立錦系中学校が

#### Apple Distinguished School に認定されました



Distinguished School

この度、墨田区立錦系中学校は、2023~2026年のApple Distinguished Schoolに認定されました。この認定には、墨田区立錦系中学校が、教育におけるその継続的なイノベーションへの取り組みと、Apple製品を活用した模範的な授業実践の実績に基づき選出されました。

iPadをまるで文房具のように使い、生徒が自ら考え、アウトプットする力を育てています。生徒自身が課題を設定し、解決に向けて取り組む主体的な学習活動や生徒同士の協働的な活動を通し、自身の考えを広げ深める、対話的な学習活動をする力を育成するために、「改訂版タキノミー」を活用した授業デザインを行いました。「改訂版タキノミー」を活用することで、高次の学びを意識した授業実践につながりました。iPadを活用することで、生徒のクリエイティビティを発揮することが可能になります。

※Apple Distinguished Schoolは、世界でも有数の革新的な教育機関として認められています。リーダーシップと優れた教育の先進的な中心であり、テクノロジーを最大限に活用した環境でどのように理想の学びをサポートするか、明確なビジョンを持っています。Apple Distinguished Schoolでは、先駆的なリーダーとそのコミュニティが、指導や学習の中でインスピレーションを与え、想像力を伸ばし、良い影響を生み出すことに取り組んでおり、それによって学業面でも確かな成果を挙げています。

# 10月の行事予定

1	日	都民の日
2	月	錦中コンテスト(理科) 専門委員会
3	火	代表委員会
4	水	
5	木	
6	金	前期終業式 安全指導 給食後下校 英語検定
7	土	
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	後期始業式 専門委員会 すみだいじめ防止の日
11	水	
12	木	学芸発表会(舞台発表の部) 給食なし
13	金	代表委員会
14	土	数学検定
15	日	
16	月	後期任命式 生徒会朝礼
17	火	連合音楽会
18	水	
19	木	
20	金	避難訓練
21	土	土曜授業 錦中ハロワーク(1,2) 進路説明会(3)
22	日	中学生海外派遣報告会
23	月	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
24	火	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
25	水	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
26	木	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2) 歯科検診
27	金	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	錦中コンテスト(タイピング)



## お知らせ

### 通知表について

終業式にて、通知表を渡します。前期の頑張りに対する励まし、後期に向けての目標について話をするきっかけにさせていただきたいと思います。できた・できなかったという結果も大切ですが、どのように努力したかというプロセスや、次はどのようにしたらうまくできるようになるだろうかと対策を練ることも大切なことです。

さて、今年度より、前期通知表の「学校から家庭へ」(いわゆる所見欄)を廃止します。これは、教員の働き方改革の一環としての取組です。前期の生徒の様子については、7月の三者面談にてお伝えしていることや、ハートフルウィークを通じ、生徒と向き合う時間を設けることで、所見の代わりとさせていただきます。

後期通知表の所見欄については、これまで通り記載していきます。

昨年度の押印廃止と合わせ、ご理解いただきますようお願いいたします。



### ハートフルウィークの実施について

10月23日(月)から27日(金)をハートフルウィークとし、7月に実施した三者面談以降からこれまでの生徒の頑張りや目標におおけて取り組んでいることの進捗状況を担任と共有します。また、学習を始めとした学校生活全般などについて個人で困っていること等を相談できる場として設定しました。この機会を通して、生徒がより安心して生活できる学校を目指します。

生活指導主任

### 生徒会役員選挙を実施しました

9月28日(木)に、第69代生徒会選挙が行われました。今年度は、会長に1名、副会長に1名、2年生運営委員に1名、1年生運営委員に4名が立候補し、計7名での選挙活動を行いました。テスト期間と重なり、準備期間が短く、スケジュールを工夫しながら活動に取り組みました。そのため、不安なところもありましたが、さすが錦系中を代表する生徒たち。当日は堂々とした態度で、それぞれが個性溢れる立派な演説となりました。今後の活躍を期待するとともに、今までに活動してきた先輩たちの思いも背負って、新たな歴史を築いていってほしいと思います。

特別活動担当 河内 勇人

#### <新役員>

- 会長 2年2組
- 副会長 2年2組
- 本部役員 2年1組
- 本部役員 1年2組
- 本部役員 1年1組



サイネージディスプレイを活用した選挙活動も行いました。